

## 文教環境分科会

議案第45号 令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第7号)

### 鈴鹿市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)策定に向けた基礎調査を実施

#### ○地球温暖化防止対策費/地球温暖化対策実行計画推進事業費 990万円

(概要) 令和4年度に鈴鹿市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定を予定しており、この計画策定に必要なデータ収集、現状分析および再生可能エネルギー技術の動向調査などの基礎調査を実施するもの。

**質疑** 基礎調査に係る委託費の算出根拠はどのようなものか。また、委託先はどのような事業者を想定しているのか。

**答弁** 委託費の算出根拠については、事前に複数の事業者に見積もりを依頼するとともに、担当課においても積算を実施している。委託費の具体的な内容としては、人件費、業務費(通信運搬費、手数料など)などとなっている。委託先の事業者については、コンサルティング会社を想定しており、環境省関連の二酸化炭素排出抑制対策事業の補助事業の調査・検討業務の実績があること、地方公共団体が発注する再生可能エネルギーに係る調査・検討・導入業務の実績があることを条件とする予定である。



議案第49号 令和2年度鈴鹿市一般会計決算の認定について

### ごみ収集事業におけるコロナ禍の影響

#### ○ごみ収集等事業費 8億7,612万3,923円

**質疑** ごみ排出量およびリサイクル売り払い収入に対するコロナ禍の影響はあるのか。

**答弁** ごみ排出量の総量は令和元年度実績の約6万9,115トンに対し、令和2年度実績は約6万8,005トンで、約1,110トンの減少であった。これは、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛に伴い、家にいる時間が長かったことから不要なものを処分する市民が増えたことなどにより、家庭系ごみが前年度と比較して約870トン増加した一方で、事業活動の停滞により事業系ごみが約1,480トン、自治会などが実施した集団回収によるごみが約500トン減少したことによるもので、新型コロナウイルス感染症の影響が顕著に表れたものと分析している。



ごみ収集の様子